

STEP 1 ストーリーの選択（第 12 章）

■ 目的を設定する

主なメッセージは何か？ ストーリーを聞いた結果、聴き手にどう考え、感じ、行動してもらいたいのか？ を考える。

■ ストーリーのアイデアを探す

目的に関連した、成功や失敗したできごとを探す。思いつかなければ第 24 章の方法を試す。

■ 思いつかない場合は架空の話をつくる

ただし、聴き手に作り話であることをはっきり認識させる。

■ 選ぶ

メッセージをもっともよく伝えるものを選ぶ。たくさんある場合は、もっとも聴き手と似た主人公、もっとも聴き手と関わりのある試練、もっとも激しい戦いがあるものにする。



STEP 2 ストーリーの構成（第 13 章）

■ 付録 C『ストーリー構成のテンプレート』を完成させる。

第 13 ～ 17 章に従う。



STEP 3 感情（第 18 章）

■ 感情がわき起こる瞬間と、それがどんな感情かを判別する

付録 C『ストーリー構成のテンプレート』に書いてある文について、登場人物がどんな感情を抱いているかを書きだす。

■ 優先順位をつける

聴き手を自分の望む方向へと導くため、もっとも適した感情をいくつか選ぶ。

■ 選んだ感情をより心に響くものにするテクニックを選ぶ

実際に話す、行動で伝える、感じさせる、聴き手に主人公を知ってもらう、心の言葉を使うといったテクニックがある。



STEP 4 驚き（第 19 章）

■ ストーリーに驚きを入れる

話の最初に驚きを入れると注意を引き、中盤では内容に集中させ、最後では学んだ教訓を記憶させるのに役立つ。

■ テクニックを使う

ストーリーでもっとも驚きの大きい部分を見つけ、はじめの部分に組み込む。

複数のできごとが同時に起こる場合は、より驚きの大きいものを先に語る。

背景となる要素を省略し、聴き手に発見させる。

背景のパートで説明される情報を最後にもってくる。



STEP 5 会話、ディテール、長さ（第 20 章）

■ 会話を加える

登場人物が本当に話したことや、口には出さずに心の中で考えたことを会話として効果的に使う。

■ ディテールを加える

登場人物の感情を説明するため、より具体性をだすため、聴き手に想像させるため、重要な場面を“見せる”ためにディテールを加える。

■ 長さを調節する

1 分から 3 分の長さで語る。



STEP 6 どう話すか（第 21 章）

■ 会話として成立するように心がける

口頭の場合は“完璧であるか”ではなく“会話として成り立っているか”を考える。通常 1 分間に 5～6 回はつなぎ言葉が入ってもかまわない。ストーリーに移る時は聴き手の注意を引かないようにする。

■ 話すように書く

聴き手の前でスピーチする際、“こういうふうには話せたら”というかたちで書く。



STEP 7 ストーリーの脚色、事実の誇張（第 23 章）

■ ストーリーや事実が正確かどうかを確認して調整する

事前に次のことを自問する。“話の当事者や現場にいた人がたまたま自分のストーリーを聞いた場合、彼らは気分を害する可能性があるか、または自分が気まずい思いをするか？”

■ 変更してはいけないものと変更の余地があるもの

変更してはいけないものには、ストーリーの本質、できごとの内容や状況、人物、試練、克服のためのプロセス、解決、学んだ教訓があり、変更の余地があるものには、時や場所、名前および人物描写、できごとの順番、引用および会話がある。



STEP 8 練習と保存（第 25 章）

■ 台本をつくらない

ストーリーを文章にはせず、箇条書きの文と重要な語句だけにする。

■ 自分にあった方法で練習する

鏡の前で語る、歩きながら想像上のバイヤーと語る、実際に聴き手の前で語る、録音する、ビデオで録画するといった方法がある。

■ 自分のストーリーをデータベース化する

ワード、パワーポイント、録音、ビデオ録画を利用する。

**STEP 0 目的**

主なメッセージは何か？ ストーリーを聞いた結果、聴き手にどう考え、感じ、行動してもらいたいのか？

ストーリーのためのメモ（概要を箇条書きで）

STEP 1 つかみ

どうして聴き手はこの話に興味をもつべきなのか？

ストーリーの骨組み

「今までにみたもっともよい例は……」

ストーリーのためのメモ（概要を箇条書きで）

STEP 2 背景

いつ、どこで話が始まるのか？ 誰が主人公で、その望みは何か？

ストーリーの骨組み

「……の頃、……で……がありました。……は……をしようとしていました」

ストーリーのためのメモ（概要を箇条書きで）

STEP 3 試練

直面する試練は何か？

ストーリーの骨組み

「ある日……」

ストーリーのためのメモ（概要を箇条書きで）

STEP 4 戦い

それについて何をしたか？

ストーリーの骨組み

「そこで彼らは……、それから……、それで……」

ストーリーのためのメモ（概要を箇条書きで）

STEP 5 解決

最後にどうなったか？

ストーリーの骨組み

「最後に……」

ストーリーのためのメモ（概要を箇条書きで）

STEP 6 教訓

自分はそれから何を学んだか？

ストーリーの骨組み

「私がそれから学んだのは……」

ストーリーのためのメモ（概要を箇条書きで）

STEP 7 推奨される行動

聴き手はどうすればいいか？

ストーリーの骨組み

「だからあなたは……するべきだと思います」

ストーリーのためのメモ（概要を箇条書きで）